

「受賞者の声」

- テーマ 「蓄積したノウハウを活用したチームワークによる就職支援の取組と訓練受講者主体のクラス運営」
- 副題 ー「全員就職」を合言葉に、「信頼関係」を礎にして取り組んだ、4期連続100%までの道のりを振り返るー
ー訓練受講者の、訓練受講者による、訓練受講者のためのクラス運営ー

岡山職業能力開発促進センター 西尾 久子
京都職業能力開発促進センター 旭 光成
関西職業能力開発促進センター 吉澤 研一

このたびは、厚生労働大臣賞（入選）を賜り、誠にありがとうございました。私たちの論文の内容は、これまで取り組んできた就職支援、クラス運営及びこれらのノウハウの提供に係る実践報告です。3名の担当業務や担当科は異なりますが、「チームワーク」と「信頼関係」を礎に取り組んできたという点で共通しています。

* * *

[西尾]ポリテクセンター関西では、キャリア形成支援業務で蓄積したノウハウを活用し、チームワークで就職支援をしています。これらが電気設備科4期連続100%、平成25年度電気設備科98.3%・全科平均90%という結果につながりました。ともに取り組んでくださった次長、指導課長、各科指導員、受講者係、就職支援係、旧キャリア形成支援係のみなさまのおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

[吉澤]今回、論文を執筆してよかったです。良かった点は、3点あります。まず、日頃業務に追われる毎日ですが、受講生と正面から向き合っている我々現場の頑張りを形に出来たことです。次に、我々が行っている就職支援やクラス運営が皆様から認められたことです。これは自信になりました。そして最後に、この論文を読んでもくださった皆様からの反響が大きいことです。各現場で、就職支援やクラス運営に対して課題があり、「何とかしたい」という想いで毎日頑張っている方がいることを再認識できました。この度は本当にありがとうございました。

[旭]ポリテクセンター京都の生産管理技術科では、受講者が受講期

間中にどのような活動をすれば良いのかを自ら考え行動すること、我々が指示するのではなく、受講者が主体となって訓練に係わる取組について紹介しました。このコースの担任となって6年目になりますが、受講者の様々な提案に対して我々の返事の多くは、「クラス全員に諮って決めて下さい」というものです。受講者は、受講期間中どうしても受け身になってしまいます。しかし、訓練の後半には、受講者自らが主体となって就職活動を行うことが必要であり、このギャップを埋めるための仕組みづくりがこのクラスの取組だと考え、実践しています。

* * *

受講者の方々は、訓練受講でパワーアップされます。それは、職業能力だけでなく、「生きる力」もです。また、そもそも就職する力があり、私たちはその力を発揮できるよう後押ししているだけだと感じています。さまざまな支援機関において、何らかの“生きづらさ”を抱えながら頑張っている方々への支援が課題となっています。そうした機関との連携を含め、今後も努めて参りますので、ご支援のほど賜りたく存じます。

最後に、論文作成に際し、ご協力いただきましたみなさまに感謝申し上げます。